海達公子をしのぶ夕べなどが主な内容です。ウォーク&ラリーでは公子の詩碑を巡り、児童文学展・美術展では市内の小中学生に作品を応募してもらい、優秀な作品を表彰しています。「近年は1，000点を超える応募があり、どれも力作ぞろいです」

顕彰事業の目的

公子の詩歌に触れることで、感受性の豊かな子どもになってほしいと松山さんは考えています。「公子の詩歌は直覚的で簡潔なものとして評価を受けていますが、みずみずしい子どもの感性だからこそ、そうした詩歌が書けたのかもしれません。詩碑を巡ってもらうと、公子が詠んだ詩を鑑賞するのと同時に公子が見たであろう情景も見ることができますし、海達公子まつりの中でも子どもたちの優秀な作品を表彰しています。公子の顕彰活動を通じて荒尾の子どもたちの心が少しでも豊かになってくれれば嬉しいですね。」と松山さんは笑顔を見せます。

顕彰事業のこれからの可能性

「荒尾の文化面の発展だけでなく、地域経済の発展にも貢献できると思います」と話す松山さんですが、そのためには積極的な情報発信が不可欠であると考えています。

「公子の詩碑は市内に現在30基。一人の詩人の詩碑がこれほどある場所は全国でも珍しく、メディア発信の素材として魅力的です。顕彰会だけでは限界がありますので、市をあげて情報を発信していくことが大切です。詩碑が増えるとウォーク&ラリーのコースも多様になります。近年のウォーキング人気もあり、上手く活用できれば多くの人を呼び込むことができ、地域経済の発展に貢献できると思いますね」

問 一般社団法人海達公子顕彰会
☎62・1128

▲児童文学展・美術展（写真左）と海達公子文学散歩道ウォーク＆ラリー（写真右）

公子も私も映画が大好きで、大牟田の映画館で時代劇をよく見ていました。彼女の好きな作品は『忠臣蔵』なんですよ

▲万田坑の第一竪坑櫓と煙突を描いた公子の絵。画才にも秀でていたことがわかる

たなはし・よしこ　月田在住。荒尾北尋常小学校（現・万田小）から高瀬高等女学校（現・玉名高）卒業まで公子とは親友であった

棚橋芳子（たなはしよしこ）さんは幼少期を公子とともに過ごしてきた同級生です。公子といえば作品の芸術性にばかり目が行きがちですが、棚橋さんの話から見えてきたものは、一人の少女としての公子の姿でした。

公子とは小学校1年生からの仲良しでした。とても温厚で優しい人でしたね。

彼女は荒尾北尋常小学校の下に住んでいて、私は万田駅前（現・荒尾駅）に住んでいたので、毎日のように遊んでいました。ご飯を食べたり、お風呂に一緒に入ったりして泊まっていくことも多かったです。詩を見せてもらったりということは一度もなかったのですが、本に出ていたことは知っていたので有名な人なんだなと思っていました。夏になると、弁当を持って一緒に蔵満海岸へ海水浴に行きました。彼女は泳ぎが得意ではなかったですね。

高瀬高女に入学すると、一緒に汽車通学していました。2人とも映画が大好きで、よく大牟田まで映画を見に行ってましたね。試験の時は学校が早く終わるので、そのまま大牟田まで汽車で遊びに行ってました。高瀬高女を卒業して私は朝鮮（現・韓国）に行ったので、彼女の死を知った時は悲しかったですね。

▲高瀬高等女学校入学を記念しての１枚。左から２人目が公子で３人目が棚橋さん

3．海達公子を感じてみませんか

1．海達公子文学散歩道で「文学の秋」を堪能

散歩道は、JR荒尾駅を起点にして、東コース（約3km）と西コース（約4km）の2コースあります。秋の爽やかな青空が広がる中、ご家族やご友人と一緒に出かけて、公子の詩の世界を体感してみませんか

松山さんが語る散歩道の見どころ

墓碑やブロンズ像など公子を身近に感じることができる東コースがおススメ。西コースは四ツ山の遊歩道沿いに詩碑が集中していて、干潟や普賢岳の景色を楽しみながら歩くことができますよ。JR南荒尾駅近くに第30号詩碑ができ、今後は南コースを充実させていきたいと思います。

2．創作ステージで公子と家族の生き方に触れてみませんか　10月16日㈰午後2時開演！

平成21年度からスタートした文化センターの自主文化事業「創作ステージ・ふるさと詩集（うたあつめ）」。市民みんなで創り上げる舞台を合言葉にして、地域の宝である万田坑、荒尾干潟や宮崎滔天（みやざきとうてん）などをテーマに、ステージを作り上げてきました。

ことしは、生誕100周年を迎えた海達公子（かいたつきみこ）がテーマ。総監督を務める佐藤進（さとうすすむ）さんは、「父、松一（まついち）の教えがあってこその公子。松一の生きざまを通して、『公子像』を演劇や朗読、バレエ、コーラスなどを交えながら描きます。」と見どころを語ってくれました。

※チケット情報などは33ページをご覧ください

1_ 散歩中に花を愛でる公子と父・松一 **2**_ 母の行商を手伝っている公子（右端が公子）